

## 南丹市障害者就労支援ネットワーク会議（報告）

【参画事業所】（12 事業所） 事務局：京都太陽の園

あしたーる工房、あじさい園、あゆみ工房、京都太陽の園、しぜん塾やぎ農園  
暮らしテラップ HIYOSHI GARDEN、Grape garden（カフェ&マルシェ Seeds）、城山共同作業所  
園部共同作業所、園部まごころステーション、ヒーローズ Japan、ひより舎

【主な年間事業】

- 会議の実施（年間3回）
- 事業所紹介パンフレットの作成
- 共同受注による請負い

## 【令和3年度活動の報告】

## ネットワーク会議

①7月19日

【交流内容】

①近況報告

- ・コロナ禍で何ができるか工夫している。
- ・インターネット販売の需要が増えている。
- ・下請け作業は減っているが、菓子製造やマスク販売、テイクアウトなど販売の売上は減っていない。
- ・感染予防を徹底して、独自イベントを開催している。

②事業所における課題

- ・仕事に向合ううえで、利用者と保護者の想いの相違が生じていることがあり対応に困ることがある。
- ・高齢化による作業力の低下により、支援者の労力が増えている。
- ・工賃に対する執着があまりなく、仕事への意欲に繋がりにくい。

・ネットワーク会議への参加が少ない状況が続いている。目的や役割の再確認や内容の充実と工夫が必要という意見があった。

・コロナ禍の状況はしばらく続くと予想される中、できる作業を増やす工夫と感染対策の徹底で安心して利用いただける工夫を各事業所でされている。

②11月9日

【交流内容】

①近況報告

- ・コロナ禍で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などに左右されないよう仕事の安定を図っている。
- ・地域で開催している朝市などが開催されるようになり、感染対策をしながら参加している。
- ・コロナ禍ではあるが、余暇活動にも取り組んでいる。美術・工芸の作品展

	<p>を開催した。作業をするだけの場所ではなく「生きがい」を感じる居場所としても考えている。</p> <p>②事業所における課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化により作業力の低下と介助量の増加がみられる。また、作業環境への配慮も必要となる方が増加している。</li> <li>・若い利用者に「仕事をするところ」ということを認識してもらうのに苦慮している。もう少し頑張って取り組んでほしいが「嫌な仕事はしない」という状況。残った作業を職員がしており大変な状況がある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同受注について、「力の入れ加減の調整がいる作業は難しい」「納期にゆとりがあると嬉しい」「チラシの封入・折り・ハンコ押しなど単純作業が受入れやすい」など意見がありました。</li> <li>・高単価の作業など、1事業所では受けられなくても共同受注をすることで可能になる。 (例えば、清掃作業でも曜日を分担するなど) 一方、分担することで数量や仕上りの管理が難しい。また、業務を請負う中で、孫請け禁止の企業も多い。という意見もあった。</li> <li>・就労支援ネットワーク主催でマルシェの開催をしてはどうか、大規模なイベントは準備も大変で中止になった時の損失が大きい。近隣で小規模なイベントの方が開催しやすい。来年度実施に向けて検討をする。</li> </ul>
<p>③3月 中止</p>	<p>実施を予定していたが、まん延防止等重点措置の適用により中止となったため、メール等により確認。</p> <p>①事業所紹介パンフレット「つむぐ」の校正</p>
<p><b>共同受注の実績</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○清掃管理業務 → 土日祝日の作業が困難な為、請負い希望の事業所なし。</li> <li>○マスク・チラシの封入作業 → 5事業所で請負い。</li> <li>○記念品の制作作業(2件) → 2事業所で請負い。</li> <li>○ボトルシール貼り作業 → 3事業所で請負い。</li> </ul> <p>※その他にも、以前からの継続作業の請負いもある。</p>	

<p><b>【まとめ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各事業所職員が大変忙しい状況となっており、会議への参加が困難な状況もある。負担を軽減できる工夫と、参画により各事業所におけるメリットが増となるよう会議の充実を図る。</li> <li>○会議により事業所同士の横の繋がりができることで、マルシェの開催など1事業所では開催が難しいことも実現できるのではないかと。共同することでできる事業を、各事業所無理のない範囲で協力しあい計画が実現するとよい。</li> <li>○交流により、各事業所における課題を共用し、対策や工夫なども意見交流することができた。</li> <li>○今後、マルシェなど共同企画の実現が期待できる。</li> </ul>
--